

様式第 20 の 2 (第 48 条の 3 関係)

実 務 経 験 証 明 書

氏 名	(年 月 日生)			
取り扱った危険物	類 別	第 類	品 名	
取り扱った期間	年 月 日 から 年 月 日まで (年 月)			
製造所等の別 (該当するものを ○で囲むこと)	製造所 ・ 貯蔵所 ・ 取扱所			
上記のとおり相違ないことを証明します。				
証明年月日 年 月 日				
事業所名				
所在地				
証 明 者 職 名				
氏 名				
電話番号 ()				

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とすること。

【記入例】

様式第 20 の 2 (第 48 条の 3 関係)

実 務 経 験 証 明 書

1	氏 名	消防 太郎 (〇〇年 〇月 〇日生)		
2	取り扱った危険物	類 別	第 4 類	品 名 第1石油類(ガソリン)
3	取り扱った期間	〇〇年 〇月 〇日 から 〇〇年 〇月 〇日まで (〇年 〇月)		
4	製造所等の区分 (該当するものを○ で囲むこと)	製造所・ 貯蔵所 ・取扱所		
5	上記のとおり相違ないことを証明します。			
6	証明年月日	〇〇年 〇月 〇日		
7	事業所名	〇〇工場株式会社 南倉庫		
8	所在地	〇〇市〇町〇丁目〇番〇号		
	証 明 者	職 名	代表取締役社長	
		氏 名	危険物 次郎 印	
		電話番号	000 (0000) 0000	

[実務経験証明書 記入要領]

- 1 「氏名」欄は、証明を受ける者の氏名と生年月日を記入する。
- 2 「取り扱った危険物」欄は、実務経験で取り扱った危険物の類及び品名とする。危険物の類が複数ある場合は、主として取り扱った危険物の類を記入し、危険物の品名についても同様に扱うこととする。
- 3 「取り扱った期間」欄は、実務経験の期間を記入する。括弧内には、合計の年月を記入する。
- 4 「製造所等の区分」欄は、実務を行った危険物施設の区分を○で囲む。複数の製造所等の区分にまたがる場合は、主として実務した施設の区分を○で囲む。
- 5 証明年月日は、記載内容を証明する年月日を記入する。
- 6 事業所名は、実務経験をした製造所等がある事業所の事業所名を記入する。
- 7 所在地は、当該事業所の所在地を記入する。
- 8 証明者は、事業所の長等、当該事業所における業務を統轄、管理する者とし、その者の職名及び氏名を記入し、押印することとする。電話番号は、証明者本人又は当該事業所のものとする。